

山菜採りの季節 事故防止に万全の態勢を 空き家の適正管理のため、協定を締結 少子化の解消へ 出生数が5年ぶりの増加



平成29年第3回定例会

平成29年第3回鹿角市議会定例会が5月12日から21日間の会期で開かれ、議案や補正予算案などが審議されました。初日に行われた市長の行政報告の概要は次のとおりです。

■山の事故防止に万全の対策

山菜採りに伴う遭難事故等の防止対策として、関係機関で構成する鹿角市鳥獣被害防止対策協議会を設立し、熊出没ポイントへの監視カメラ設置など、熊の侵入経路の特定や行動の把握に努めるほか、4月1日から十和田高原地区の市道2カ所の通行を規制し、入山自粛を呼び掛けています。

また、警察、消防、地元猟友会などの関係者が一堂に会して、熊との遭遇を意識した遭難捜索訓練を実施するなど、対応には万全を期しており、青森、岩手両県の隣接自治体とも連携しながら、広く注意喚起を行います。

■かづの高校生広報室の発足

「かづの高校生広報室」を発足

■テレフォン病院24がスタート

健康に関する不安や悩みについて、医師や看護師などの専門スタッフが24時間体制で対応する電話相談サービスを5月1日から開始しています。

いわゆる「コンビニ受診」が抑制され、真に医療が必要な方が早期受診できる環境へと改善されることを期待しています。

■来年度以降の米の生産調整

国による米の生産調整は今年度が最後となりますが、鹿角地域農業再生協議会では、来年度以降も需要に見合った生産を調整するため、農家に対して「生産の目安」となる生産目標数量を配分することとしています。本市独自の目安

させるため、広報室メンバーを募集しています。

高校生の目に映るふるさとの魅力やSNSや広報で発信することで、同世代への情報の波及を期待しており、将来も住み続けたいと思ふふるさとへの愛着を深められるよう、市職員が活動をサポートしていきます。

■移住相談体制の強化

4月から新たな移住コンシェルジュ1人を迎え、現在5人体制で取り組んでいます。7月にはさらに1人を増員し、これまで以上にきめ細かい移住相談や移住体験機会を提供していきます。

■空き家の適正管理

良好な生活環境の保全と安全で

であることを説明しながら、協力を呼びかけていきます。

■花輪大堰改修事業が始まる

花輪大堰改修事業については、今年度から5カ年の県営事業として取り組み、今年度は、測量を含む実施設計を予定しています。

■観光路線バスが好評

昨年度から実施している事前予約型の観光路線バス「八郎太郎号」の運行を5月3日から開始し、連休中は全て予約が入るなど、運行便数の拡充等の効果もあり、好評でした。

引き続き各観光関係者と連携してPRに努めるとともに、さらなる誘客拡大につなげていきます。

安心なまちづくりを推進するため、公益社団法人鹿角地域シルバー人材センターと「空き家等の適正管理の推進に関する協定」を4月24日に締結しました。

■集落支援員が地域活性化を支援

地域コミュニティの維持と活性化を図るため、今年度、新たに集落支援員を配置し、集落支援事業に取り組んでいます。

現在は4自治会を対象に、課題や地域資源を把握する「状況調査」を進めています。

■出生数が5年ぶりの増加

第1子の出生に対し支給するファーストベビー祝い金を、昨年度は60人に支給しました。出生数の状況は、第1子が69人、

■湯の駅おおゆは本体工事に着手

大湯温泉地区観光拠点施設は、名称を「湯の駅おおゆ」とし、いよいよ本体工事に着手します。来年度のオープンに向け、遅滞なく進めていきます。

■管内の雇用情勢

ハローワーク鹿角管内の3月末の有効求人倍率は1.28倍と依然として高い水準で推移しています。企業立地助成金による積極的な支援効果が現れている一方で、労働力の確保が課題であるため、Aターン登録者の回帰や、高校生の地元就職定着に向け、市内企業の魅力や特徴を収録したPR動画やパンフレットによる情報発信を行います。

第2子以降が99人の合計168人で、前年の166人を上回る結果となりました。減少傾向が続く中で、5年ぶりの増加となっており、引き続き、子育て支援の充実に努めながら、少子化傾向の解消を目指します。

■産婦人科医療の維持に向けて

かづの厚生病院の産婦人科および分娩取扱機能の維持のため、小坂町および秋田県厚生連と共に要望活動を行いました。また、「鹿角の産婦人科を守る会」が実施した署名活動では、約9千人の署名が集まるなど、市民の関心や危機感が高まっています。

多くの市民と意思を一つにして、鹿角の産婦人科医療が維持されるよう努めます。

また、今年度も、新規卒業者の就職内定率100%の早期達成を目指し、ハローワーク鹿角と連携して、管内事業所への求人票の早期提出などを働きかけていきます。

■文化の文化交流館コモッセ

2年目の平成28年度の利用実績も32万1千人を超えるなど、1年目に続き、当初の目標20万人を大きく上回る結果となりました。3年目となる今年度も、さまざまな取り組みを展開しながら、中心市街地の賑わい創出につなげていきます。

問 総務課 行政班 ☎30-0203



1



2



3



4

1 花輪スキー場で行われた遭難捜索訓練では、関係団体が連携方法を確認しました。

2 移住コンシェルジュがLINE(ライン)を活用した新たな取り組みを記者発表しました。

3 シルバー人材センターとの協定締結により、空き家の適正管理の促進が期待されます。

4 コモッセ2周年記念イベントではさまざまな催しが行われ、多くの来場者で賑わいました。